



2018.11月

東町一丁目市有地の利活用を考えよう

ワークショップニュース

1



発行：武蔵野市役所総合政策部資産活用課 Tel:0422-60-1973 FAX:0422-51-5638

10月17日（水）の19時から、ワークショップ『東町一丁目市有地の利活用を考えよう』を吉祥寺東コミュニティセンターにて開催しました。

このワークショップは、故平井医師より福祉目的で遺贈を受けた平井医院跡地の利活用について、市民と共に考える目的で開催します。30人の市民の方々にご登録いただき、来春4月まで、全3回のワークショップを行う予定です。

今回は、「地域の課題・ニーズを知ろう」をテーマに話し合いました。はじめにプロジェクト用地について、経緯と現状について説明しました(p2)。その後、5つのグループごとに今回の利活用で「期待していること・心配していること」を発表しながら、自己紹介していただきました(p3~6)。次に新しくできる『場』で「してみたいこと」を出し合い、写真を使って「私たちの夢の『場』物語」を紙芝居風にまとめ、それぞれ発表していただきました(p6~10)。最後に感想カードを書いていただき(p10~12)、ワークショップを終了しました。

第1回目のワークショップということで、最初は皆さんの表情も少し緊張して見えましたが、たくさんの思いを基にまとめて頂いた物語は発表の方の表現も豊かで楽しく、皆さんのイメージを広げるとともに共有することが出来たと思います。残り2回のワークショップで皆さんの思いを出来るだけ具体的に、空間構成と運営方針の可能性の検討に落とし込んでいきたいと思っています。

次回のワークショップでお会いできることを楽しみにしています。最後まで是非参加して頂こう、よろしくをお願いします。

全体スケジュール

2018.10.17



第1回ワークショップ

* 地域の課題・ニーズを知ろう

2018.12.11

第2回ワークショップ

* 新しい施設の多機能化と複合化を考える
* 公民連携の可能性を探る

2019.4.

第3回ワークショップ

* 施設の空間構成を考える

2019年度

検討委員会

2020年度

サウンディング調査
庁内調整・検討

＜第1回ワークショッププログラム＞

ステップ1：はじめに

ステップ2：プロジェクト用地の過去・現在・未来を知ろう

ステップ3：グループで自己紹介

ステップ4：新しい場所の利用イメージを物語にしてみよう【ビジョンゲーム】

ステップ5：「私たちの夢の『場』物語」発表

ステップ6：まとめ



プロジェクト用地の過去・現在・未来を知ろう

プロジェクト用地に託された思いを聞き、
用地の現状と取り巻く状況について市役所から説明しました。

プロジェクト用地に託された思い

近所に住む原さんのお話

先生は女子医大を出られてここで開業され、よく注射をする美人先生と評判でしたが、昭和50年頃ホメオパシーを始められました。ファンも多く、うちも姑、私、子供がお世話になりました。ここで母上を見送られ、姉妹で犬を可愛がっていましたが、肺がんになった妹さんを在宅で見送られました。細かいことは存じ上げないが、お仕事柄、医療、介護の支援は受けられたと思います。

医師会の集まりで話が出たそうで、「平井さんが近くの原さんがやってくれるなら家を寄付しても良いと言った。話を聞いてもらえないか。」と当時

の市長から電話がありましたが、まだお元気で現役だったので、彼方から言われるまではと行きませんでした。その後、お年を召し、体調を崩されるようになって、細かな用事を電話で頼まれるようになり、終日のお手伝いさんがつくようになるまでの数年お手伝いしました。先生が何を思い描いておいでだったかは聞き損ねましたが、申し出られた頃にはそ〜らの家が開設されており、そんなものを考えられたのかと思いますが、実のところわかりません。でも地域の福祉に役立つならというのは御遺志だったと思います。

プロジェクト用地の現状と周辺状況

武蔵野市資産活用課

1. 土地の概要



■敷地面積

- ◆ 約600㎡強 (約200坪)

■アクセス

- ◆ 駅から徒歩約8分
- ◆ 東町一丁目バス停から徒歩約3分
- ◆ ムーバスのバス停、松井健診クリニック、あさひ病院から徒歩約4分

■土地の条件

- ◆ 第一種低層住居専用地域
- ◆ 建ぺい率50% 容積率100%

2. 東町の周辺状況

■人口分布

- ◆ 高齢者人口割合 (65歳以上) 22%以上
- ◆ 年少人口割合 (15歳未満) 14%未満
- * 約4人に1人が高齢者、子どもは10人に1人いるか、いないかという状態

■高齢者・障がい者福祉施設の設置状況

- ◆ 東町には1つもなく空白地域

■子育て支援施設の設置状況

- ◆ コミセン親子広場3カ所…定期開催 (吉祥寺東・本宿・吉祥寺北)
- ◆ 0123吉祥寺…常設
- ◆ ボランティアセンター武蔵野 (子育て支援団体の事務所)

■医療機関 (H30.1.1現在)

- ◆ 7つあるが三丁目、四丁目は少ない。

3. 市の公共施設をとりまく課題

[高度成長期]

- ◆ 公共施設の多くは昭和40~50年代に整備。
- ◆ 税収も増え、住民サービスを拡充。

[現在]

- ◆ 少子高齢化による社会保障費の負担増。
- ◆ 公共施設は老朽化し、更新の時期を迎える。

[課題]

- ◆ 多機能・複合化、公民連携を積極的に取り入れ、財政負担を抑える工夫も必要。
- ◆ 現在、東町地域にはない福祉サービスの提供が望まれる。

グループで自己紹介

今回の土地の利活用で『期待していること、心配していること』を自己紹介カードに書き、グループ内の皆さん同士で紹介し合いました。



『期待していること』

市民の意見が反映された『場』

- ♥ 今回のワークショップの進め方を聞いて安心したが、いろいろな意見を聞いて広い視野で活用する事が見える会になってほしい。
- ♥ ワークショップで市民の様々な考え方や意見、発想が出てくること。そしてそれを基にして、より良い利活用ができること。高齢者から赤ちゃんまで、すべての年齢層に対応できるような施設や活動ができること。
- ♥ 私の参画の心構え。貴重な市有財産の有効活用策の検討に一市民として参画できること。将来を見据えてよく考えたいこと。単なる箱物を作るのではなく、赤ちゃんから高齢者まで喜んでもらえるソフトサービスを展望したいこと。
- ♥ この地域を知ること。

福祉的に活用される『場』

- ♥ 特養の様なものが地域にないので、希望する人も多いかと思うが、200坪では不足。又、テンミリオンハウスの様なものには広すぎる。このため、老人向けの施設と子ども（園児？）のための、双方のニーズを満たした多機能、複合化の施設が好ましいと思う。ショートステイが出来る施設を希望する人が多い。老若男女が交流出来る場の創設。
- ♥ 特に奥様に先立たれた男性を見ていると、必要な栄養をとれる料理を提供してくれる施設。テンミリオンハウスがあった方が良い様に思う。小学生のあそべえ終了後から、中高生がのびのびと遊べる施設が東町にはない。北町コミセン、南町コミセンは部屋数も多く、体育館があったりするので羨ましい。東町コミセンは狭くて部屋数が少ない。
- ♥ 老人が集える場所。10人くらいの部屋。例：会議室、手芸等の趣味の仲間。2階だとしてもエレベーター付き。屋上の緑化。畑づくり。もちろん多目的。あいさつを。
- ♥ テンミリオンハウスの希望ですが、東町3丁目、1丁目、もしこの場所にテンミリオンハウスが出来た場合交通の便が悪い為、その点を考えていただきたいです。テンミリオンハウス1日2,500円がある方がいます。
- ♥ 常に福祉関係の方がいらして、困った時、淋しくて誰かとお話したくなった時、お手伝いが必要になった時、相談できる所であって欲しい。高齢者、小さいお子さん、共に過ごせる場所であって欲しい。お食事やお茶ができて、高齢の方が一日楽しく過ごせる所であって欲しい。
- ♥ 住み慣れた我が家で最期まで住み暮らし続けられるように。例えば看護付き小規模多機能施設ができれば良い。子ども食堂やら青少年～幼児の居場所にもなれるように。高齢者の為にも子ども達の為にも。



この地域のための『場』

- ♥ 市にとって、他の行政にない新しい施設ができること。地域全体に機能する施設ができること。
- ♥ 地域の思いを伝えられると良い。利用者の目線で計画を。公共施設の少ない東町、とても大事な場所。
- ♥ 東町が好きになれたらよいなあ。
- ♥ 具体的なことはまだないが、毎日前を歩いてとても良い場所だと思っていたので、地域の人が喜んで利用できる場ができると良いと思う。松の木がすてきななので、活かしてほしい。公園的な？
- ♥ 開放的で敷居の低い施設、空間になる事。松の木は残して欲しい。

世代を越えた交流の『場』

- ♥ 人が交流できる場。多世代が関われる機会がつかれる。温かく明るい空気。
- ♥ 小さい子から高齢者まで交流できる様な場。デイサービス、ショートステイ、医療施設もあったら。
- ♥ 多世代交流ができる場所。
- ♥ 交流、補完、安心・安全
- ♥ 異世代交流の場
- ♥ 様々な世代が集うことができる場所。子育て世代も中高生も、一人住まいの高齢者もつながる場所。
- ♥ 高齢者が気軽に利用できる。未就学児及び低学年のお子様たちが楽しめる。家族（二世帯、三世帯）で同じ空間を共有し集える。施設内に医療関係者が常時いる。

様々な機能を持った『場』

- ♥この地域は体育館にもプレイスにも少し遠いため、出来ればトレーニングルーム、老人のためのサロン、子ども達が安心して遊べる児童館など、複合施設ができるといいな～。
- ♥高齢者・障がい者施設と認可保育園、一体型の施設。将来的に更に少子化が進んだ場合には、高齢者用に転用できるように。世代間交流などもできれば尚可。
- ♥高齢地域であることと、いやでも在宅介護圧力がかかる中で、それが可能になる拠点があればと思う。一方、幼児から高齢者まで、あまり制約のない形で使える（コミュニティセンターのように予約とか時間の制限でなく）ゆったりとした居場所の希望は強い。また地域の福祉関係のグループは、拠点を持っていないので、様々なグループの拠り所にできるものもほしい。
- ♥防災センター
- ♥住民の、年齢分布は把握できました。高齢者（65才～）と言っても介護等を受けるサービスという視点から起こす活動という観点も大切です。テンミリオンハウスという要望が強くあると思いますが、それに止まらず元気な高齢者、元気に活躍できる高齢者の場をしっかりと、それとの融合が図られると良いと思います。東町は福祉施設の空白ばかりでなく、他の文化、スポーツ施設なども欠けています。
- ♥時系列的に複数の用途に変更可能な汎用性のある建物（子ども目的→高齢目的）。高齢者と幼児双方利用可能な施設。
- ♥福祉利用が目的ということで、全ての人が幸せになれる施設をつくっていきたい。個人的には読書、勉強ができる一方で、何か、音楽とか劇とか鑑賞できる大きな広い空間があれば。
- ♥おもちゃ病院の拠点。世代を越えて一緒にいる施設。



『心配していること』

利用しづらい『場』になること

- ▼せっかく施設を作っても十分に活用、利用されないような事態になること。
- ▼機能しない施設になってしまうこと。
- ▼テンミリオンではなく、誰もが必要な時に使えるようになって欲しい。大人だけでなく青少年、子ども達も出入りできる様な場になると良い。
- ▼武蔵野市の施設を他区の人たちが占有してしまうこと。限られた人たちだけの利用。
- ▼若い人、高校性？みんなの施設→あるの？
- ▼武蔵野市は長くテンミリオン方式をとって来た。欠落地域では「テンミリオン」要望がある。しかしテンミリオンはテンミリオンなりのしびりが強く、できたとしてもそこに収まりきれない要望が残り続けるかもしれない。使いやすい、あってほしい場所と実際に運営される施設。
- ▼特定の人たちだけの利用にならない施設となればいいが、という心配。入りにくい施設にならないように。

これからの町の課題

- ▼空き家が増えること。
- ▼あまりないが交通、音、長期化。
- ▼交通が不便かな。
- ▼交通の便が悪い為、利用する方と利用しない方と差が出てくると思います。
- ▼宮本小路の交通量
- ▼今年に入ってから地震が多いので、台風、防災センターがあればいいと思います。
- ▼一人住まいの人が増えることによるストレスなどの矛先が、立場の弱い人へ向かうこと。すでに感じています。
- ▼安易にただの公園。

周辺環境の悪化

- ▼周囲が一般住宅なので、ある程度以上の大きな音を出さないようにしたい。
- ▼静かな住宅地なので、そこは乱してほしくない。
- ▼道が狭いので車が入るとなると心配です。
- ▼車が多くなること。
- ▼隣地の方はこのワークショップに参加しているのでしょうか？隣地の方に入入りの時や室内の音が騒音となり、ご迷惑をおかけないようにしたい。

実現のために行政がやるべきこと

- ▼公民連携と言いますが、民間ですと利益が上がらないことには撤退するということがよくあります。必要な施設であれば行政が責任をもって運営すべきと思います。
- ▼ワークショップの成果が行政に反映されるのかどうか？せっかく良いプランができて、ふるさと納税で市税が減収となり実現できなくなること。
- ▼実際の計画に反映して欲しい。やったという形式だけにしないで。
- ▼工事の騒音、防災、形式的なワークショップ。
- ▼楽しくないワークショップになること。
- ▼民間委託により福祉目的が変わってしまわないか。数十年後に不要、余剰とならないようにすること。

新しい場所の利用イメージを物語にしよう

グループごとに、新しくできる『場』で「してみたいこと」をポストイットに書き出した後、「私たちの夢の『場』物語」を全体の場で発表していただきました。



新しくできる『場』で「してみたいこと」

[] はグループ番号

♡ スポーツ

- ゲートボール[A] 野球[A]
- トレーニングルームがほしい[B]
- スポーツができる施設[B]
- 自転車の練習[A]
- 小さくともスポーツ空間、ジム[C]
- 歩行に心配な方が歩行に自信がつくような軽い運動のサークル[C]

♡ ものづくり

- 趣味の場[B]
- ものづくりサロン[A]
- お互いのトークだけでなく、モノ作りが出来る場[A]
- 料理教室[E]
- 工作室（料理室）が欲しい。[D]
- 工作[E] 手芸[E] 折り紙[E]
- 生け花[E] 園芸教室[E]
- 年齢にかかわらず土にふれる機会（野菜、花などを育てる）[A]

♡ 映画 読書 音楽

- 本を読んだり読んでもらったり[E]
- 図書室[B] 読書[E]
- 地下を作り、中高生が音楽できると良いですね。[C]
- ミュージックベルや歌をうたうイベントに参加したい。[C]
- 合唱[E] なつかしのメロディを歌う[E]
- 合奏[E] ミニコンサート[E]
- 映画会[E]

♡ その他

- お花見[A][E] 野点[A]
- バーベキュー[A] キャンプ[A]
- フリーマーケット[A] バザー[E]
- ドッグラン[A] あやとり[E]
- おはじき[E] 外国語の会話[E]
- 勉強[E]



新しくできる『場』を「こんな場所にしたい！」

地域の交流の場』

- おしゃべりする部屋(10人位)[A]
- 雑談[E]
- 老若男女が交流出来る場[A]
- 少しの仕切りで空間を分けて、多世代が同時に居られる『クラブ』[A]
- 年代を問わず交流し、知恵をもらいたい[B]
- 多世代、世代間交流ができる場所[B][E]
- 子ども達と老人が一緒になって楽しめる空間[B]
- 高齢者と青少年、子ども達がふれあえる場所[C]
- 高齢者と子どもの交流の場となる[C]
- 0 1 2 3の次の世代と高齢者と集える場[D]
- 高齢者から若い人(幼児)への交流の場として絵本の充実[C]
- 若い人からお高齢者への教える場としてPCを用意[C]
- 昔の知恵を教える、伝える⇔知りたい、知らなかった つながる[D]
- 昔から居る人と新住民の交流の場[E]
- 東町に新しく住まわれた方が町になじめる場[E]
- 有名人や地域の人の話を聞く会[E]
- (たまに)小さなお祭り(地域の人の)[B]

子ども達の居場所

- 子ども達が思いっきり走れる場[B]
- 子どもの野外の遊び場。昔は他の人の庭も遊び場だった。今は空き地もない。[E]
- 子どもが遊ぶ空間[B]
- 子どもと遊べる施設 [D]
- 家でできないことをできる空間(子ども)[D]
- 小学校高学年~中高生までが自由に遊べる施設。体育館(室)など、大きい部屋。[E]
- 小・中・高生が交流できる場[B]
- 中学生や高校生が運動できるスペースがあるといい。[A]
- 中高生の居場所[B]
- お父さん、お母さんが仕事で帰ってくるまで待っている場所があると安心。[C]
- 子どもの一時預かりサービス+近所の方々とのおしゃべりサロン[A]
- 託児、一時保育[D]
- 保育園[B]

飲食できるスペースがある 場』

- 気軽に寄ってお茶が飲める[A]
- ちょっとお茶が飲める寛ぎサロン[A]
- 日本茶カフェ[D]
- 交流カフェ(多世代)[C]
- タダのお茶を飲む[E]
- 楽しい(大勢で頂く)おやつ[E]
- 簡単な食事が出来ればいいな[A]
- 子ども、高齢者食堂[B]
- 公民連携になるのかもしれないが、例えばこけし屋別館のような飲食の場[D]
- 高齢者から赤ちゃんまでの全ての世代が気軽に立ち寄ることができる場にしたい(喫茶コーナーを設ける)。[D]
- 一人暮らしの方が一緒に食事をする。[C]
- 子ども食堂で地域の方とも顔を合わせる。[C]
- できれば子ども食堂、学習支援の場。[C]

福祉的、医療的な設備のある 場』

- デイサービスやショートステイが出来る施設も不可欠ではないか。[A]
- テンミリオンのような福祉施設[B][E]
- 福祉サービス施設+地域交流[B]
- 地域人優先なのだから、コミセンのように部屋取りをしないで、福祉的な活動ができる場所(日替わり、時間割)[C]
- 老人達が遊べる施設[D]
- 高齢者の方にお弁当を作って配る。[C]
- 在宅高齢者の医院(東町の開業医の減少)[E]
- 在宅介護を支えるシステムと場所。看護付き多機能に当たるのか?[C]

誰もが来やすい 場』

- 室内から外への出入りがしやすい縁側の機能[D]
- 入りやすいエントランス(開放的)[D]
- 家で一人ならここに行こうと思える(子どもも高齢者も)[D]
- 一人住まいの方も行ける場[D]
- アパートに住んでいる人が出てくる施設[D]
- 決まった人だけが利用する場にしない。誰でも使える！[D]
- 名前だけで入れる施設。[D]

『相談できる 場』

- 高齢者の困り事への対応[B]
- 介護、心理などなど専門の先生がいて、相談に乗って欲しい。[C]
- 気軽に相談できる医者、介護、日常（植木屋、大工、その他）[C]
- 外国人が多い東町。相談。[C]

『緑のスペースを活かした 場』

- 松2本を活かしたエントランス[B]
- 松を残してシンボルにする。[D]
- 松をこの地のランドマークとしたい。[D]
- 松とバランスの合う、日本的な建物[D]
- 緑のあるスペース[B]
- 建物ばかりでなく、自然が残されていること[C]
- 緑を見ながらボーッと眺める時間を過ごす。縁側の復元。[C]

『その他』

- シニア&ミドル。「シニアよ、大志を抱け！」[C]
- 老人を高齢者という言い方を別の言葉で!! [C]
- 若い人が住みたくなる施設 [B]
- まちの由来と歴史を受け継ごう。[C]
- 九浦の家ではなし得ないこと。[D]
- 災害時に役に立つ建物（自家発電、井戸、トイレを造る）[D]
- 屋根はソーラーパネルで発電 [C]
- 建物が出来るとするのなら、ゆるやかな管理を。[D]
- 地域が支える施設 [B]
- 駐車場は不要 [D]
- おもちゃ病院の拠点 [D]
- 動物が居る施設 [D]
- 展示物を展示出来る [D]
- 東町にムーブスを通して欲しい。[C]



18枚の写真の中から4枚を選び、紙芝居風にまとめていただきました。

Aグループ

～猫が見た ある一日～



①近所の皆さんが集まってきました。1階は高齢の方々がお茶を楽しんでいます。



②となりのスペースでは小さな子が遊んでいます。

④地下ではダンスを楽しんでいます。午後は中学生が卓球をしに来ます。そう言えば、今度の日曜は庭で野点らしいよ！庭の真ん中に枝垂れ桜を植えてお花見しようね！



③2Fではお花の会、明日は木彫りの会です。



Bグループ

～オープニングの一日～



①「我が輩は猫である。名前はまだない。みんな、来てね！」

②庭では子ども達が遊んでいます。普段は忙しいお父さんも見守っています。おじいちゃん、おばあちゃんも集まってきます。

③みんなで楽しく体を動かしましょう！脳を活性化！
動くとお腹も空いてくる。



④趣味の場、食堂、集いの場、何でもあるよ。来てみてね。世代を問わずおしゃべりして、ホットな時を過ごしましょう。元気になって帰るニャ〜。



Cグループ



①子ども達も高齢者も、みんなで遊びに来ています。好きな時間に来て、好きな時間までいます。お父さん、お母さんが仕事で帰ってくるまでいる場所があると安心。



②台所があります。音楽、身体を動かすこともできます。宿題が終わると良いなー。



③介護、心理、日常生活の相談が気軽にできます。専門家とお話できると安心です。

④庭の楓が色づいて来ました。

Dグループ



①松の木をシンボルとして残す。和風の施設、縁側。駐車場、駐輪場は不要。

②異世代、一人暮らし & 二人暮らし。いつでも誰でも。



③喫茶、読書、スマホ、おもちゃ病院、作品展示、工作室、料理

④オープン、Welcome、障がい、災害、福祉



Eグループ



①昔むかし、ここに美人廿医さんの医院がありました。こんなこともしたいな、あんなこともできるかな。みんなで考えてみました。



③だけとおなか空いたら食べるものあるかな。

②高齢者と幼児と一緒に遊べる場がいいなとか、あやとり、おはじき、折り紙。春はお花見、秋はバザー。雑談だけでも楽しいな。初めて会う人との雑談もいいな。



④トイレを借りるだけでもいいんだヨ。はてさてどうなりますでしょうか。あなたも楽しいところへどうぞ!!この暖簾を押して中へお入り下さい。

まとめ

ワークショップに参加して感じたことなどを自由に、感想カードに書いていただきました。

現状を知り、考えさせられた

- 東町に福祉施設が一つもないなんて初耳でした。病院も入院施設（ベッド数）も減っていく一方なのは淋しいことです。在宅で最後迄、生活出来る様な施策を望みます。又、子どもが学童、あそべえ後、集う場所や施設がない。特に東町はコミュニティセンターが小さいので（小さいmeritメリットは別途あるが）、これも淋しい限りです。
- 和やかに意見交換できてよかったです。最初の説明で「子育て施設の紹介」の時に、0123などだけ紹介されたのは正直、納得がいきませんでした。0123は「あったらいいな」の施設であって、東町エリアの保育園の「ないと本当に困る施設」の少なさ（実質2園）の方が重大な問題だと思います。出席者の年齢構成の偏り（高齢者多）もできれば多少、強制的にでももう少し若年層（PTAや幼・保の父母会からの出席者）を増やした方がよいのではと思います。
- 具体的な資料等を見て、考えている事（理想）と地域に不足している事が違うことに気付いた。またグループで考える事により、自分以外の世代の考えや色々な立場の意見が聴けて、本当に必要なものは何か、改めて考えてみたい。
- 知らない方ばかりで不安でしたが楽しい時間を過ごせました。しかし、いろいろと考えさせられる時間でもありました。以前に住んでいた市内の緑町に比べて高齢者の施設等が少なく、不安もあります。様々な世代の市民が有効に活用できる、すてきな場所にしてほしいです。
- 公共施設の配置について機能別に整理された情報もあり、「地域に足らざる機能を補う施設を」という考え方は皆さん、共通で持たれていたように思う。一方で「あったらいいな」と思える機能は少なくなく、空間的な制約もふまえて、どう優先順位をつけるのかは悩ましく思われた。東町の中での居住エリアや年代によっても思いは異なる印象であった。

有意義な時間だった

- ワークショップというものに初めて参加しましたが、多くの良い意見や提案などが出て、大変有意義でした。市にはこれを無駄にせず、是非有効活用して頂きたいと思います。施設についての話し合いをしているうちに、運営も市民が担うべきだという風に考えました。今後ともよろしくお願い致します。
- みなさんの具体的な楽しいアイデアが出てきて、とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- 大変有意義な時間でした。あいさつもしなくなったこの頃ですが、皆が仲良くなることに役立てばよいですね、この平井医院跡が。
- 土地の周辺状況（写真）を見ると隣接する家がとても近いので、その家の方々のご意見も気になりましたが、みなさんアイデア旺盛で楽しかったです。ただみなさんのためにも早く運用（開放）されることを期待しています。
- 自由にしばられずにものを考えるのは簡単なようで難しい。ある程度まとめて行くためには必要だったかもしれないが、ストーリーにすることで落としてしまう提案もあり、何を盛り込んでいくか選んでいくところにも大切な視点が要る。いろいろな方の発想を知ることができてとても興味深い集いだった。
- 各グループの意見、その内容を聞き参考になる事、私自身気がつかない内容、とても勉強になりました。
- 具体的なアイデアが出てきて面白かったです。600㎡の床面積というのがイメージできませんでした。例えば吉祥寺図書館の半分とか、九浦の家と同じ位とか示して頂けたら良かったですネ。他の方々のお話を聞いて勉強になりました。
- プログラムがとても楽しく、アイデアもたくさん浮かび、気軽に発言出来、Bグループ！良かったです。皆さん、同じような考えかな。
- 同じグループの方々と楽しく話し合う事が出来ました。まさに多世代の交流で、いろいろな意見が出て、話し合う場の重要性を再認識しました。このような場がたくさん持てると、地域ももっと活性化すると思いました。是非、今日の夢が現実になりますように！
- E班の方はみなさんととてもいい人でした。みんな個人の利益を追求せず、まちのことを考えておられた。なかなかいいワークショップになると思うので、ぜひ検討委員会もワークショップでやっていただかないとこの思いがムダになると思います。

多世代のための『場』を

- 参加者の年齢層が全体的に高いので、多世代のためになるような配慮が必要です。税金を多く払っている人への配分ではなく、子どもの代へ続いていくような知恵が不可欠です。武蔵野市はミーハーでプライドが高いと外の人は言います。それを捨てて、市の担当の方も取り組んで頂けるといい結果になると思いました。
- 子育て中の若い方の話が聞けてよかった。子ども中心の気持ちが強いのかと思っていたが、高齢者の事も考えての意見が多くあった。人と人のつながりを大切にしていると感じた。
- はじめて九浦の家に入りました。吉祥寺在住18年、徒歩2分に暮らしているのに、です。理由は入りにくいから。毎日同じグループが利用しているイメージだからです。今回、この施設の計画はぜひともそんな雰囲気にならないようにしたい。高齢者、子どもだけが利用するのじゃない、平日働く20~40代の若者たちも利用できるようにしたいと強く思います。そして独身の人たちにも。
- 休みがない施設を作りたい!!



地域で安心して暮らせるための『場』に

- 場所が広いのだから地域交流の場だけでなく、専門家のいる施設にしてほしい。どのグループも年齢を幅広く考えてくれていたようで安心した。東町で長く住めるように、在宅看護可能な地域にしたい。福祉機能を東町に。夫がガンを経験し、ガン患者と家族のカウンセリングの場があると良いと思った。心理の専門家を！
- どのグループも発表には交流の場の創設がもられていたが、これは大変良いことだが、実際にはソフト面、運営ノウハウで大変な苦労があると思う。現実的な老人向けのショートステイの設備等を付与することも不可欠と考えます。
- 全体的に多世代が自由に入出入りして、おしゃべりや趣味活動ができるところのイメージだった。コミュニティセンターとも違う、地域の場で福祉的な活動につながっている。規模、そのうちどの位の部分をこうした目的で使えるのか。一方で地域福祉の気持ちの拠り所となる専門施設もほしい。南町のゆとりえ、北町のナーシングのように。
- 人は一人では生きていけません。人と人が集える場。3回のWSで「場」の理念を打ち立てたい。
- 老人がいつでも来られる所がいい。防災センターがあればいいと思います。1人でも来られる所。

共通する方向性が見えた

- 5グループあったが、ほぼ共通する方向性が見えた様な気がします。このワークショップの話し合いの結果が、実際の計画に反映される事を望みます。
- 5グループに分かれての発表でしたが、全グループともに1. 利用者は子どもから高齢者、2. 建物のコンセプトは能動的に参加するもの、受動的に専門家にやってもらうもの、3. ガーデン付き、食堂用意が共通のコンセプトとなりました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 5つのグループの発表で共通していたことは多世代の方々に対応でき、多目的な使い方が期待されていることが現れ、地元の人々が皆、真剣に考えているのだなぁと感じました。東町の施設ということばかりではなく、これは市内に共通する考え方と思います。
- 初めてにお目に掛かった方もお話が出来ました。各グループの共通認識として「高齢者～幼児の交流の場」があった。これを元にして、発表されなかった内容も含めて、満足の行く施設を作って行きたい。しかし本当に必要なものは建物（入れ物）ではなく中の仕組み（人材とシステム）が大事と思う。
- 紙芝居形式の発表はとてもユニークで楽しく取り組むことができました。A～E、どこも个性的でしたが、ほぼ同じ傾向の意見が出たと思っています。具体的になると種々の問題もあらわになってくるでしょう。皆でより良い施設を作ることを希望します。
- 楽しいワークショップだった。他のグループの話ももう少し詳しく聞きたかった。発表はやはり（切り口は違って）同じようなイメージを皆さんが持っているように感じられるものだった。

